



素敵なスポットや飲食店、お土産がたくさんある高槻。市内のエリアごとに市観光協会が紹介します。 市観光協会／Tel675-0081

①八幡大神宮



高槻城主も崇拝

洪水によって応神天皇の像と白羽矢がこの地に流れ着き、これをまつたのが始まりといわれる。江戸時代前期に高槻城主の松平家信や岡部宣勝によって社領が寄進され、社殿が再興された。ひときり目立つ大きなアベマキの木が目印。



江戸時代には牛頭天王社（ござてんのうしゃ。現野見神社）などとともに高槻城の守護神とされた。

②是三寺前の道標



枚方街道と富田方面の分岐点

府が各地に建てた道標の1つ。正面左下に「大塚村」の名があることから、それ以降の設置と分かる。枚方と西国街道の芥川を結ぶ道は、明治時代に「枚方街道」と呼ばれていた。

大塚口



東に進むと「大塚口」という木戸（門）があった場所に着く。ここを南下すると枚方街道へ。主に淀川舟運や京街道を利用する人の往来でにぎわっていた。

③Bleuet

母娘で営むカフェは、具材たっぷりの手作りピタパンサンドと自家焙煎コーヒーがモーニングでも人気で、メニューのパンは全て自家製。店名は、かつて父が営んでいた鉄板焼き店の店名をフランス語に変えたもので、名物だった焼きそばは今もランチで提供している。



やさしい料理にほっこり



木・土曜限定のフランス産の塩を使用した塩パンも人気。焼き上がりの10時ごろを狙って、テイクアウトする人も。

営 7:30～17:00
(受け付けは16:30まで)
休 日～火曜
☎ 663-1339

④トイランド宝島



1977年創業の駄菓子とおもちゃの店。店内には誰もが口にしたことがある昔懐かしの駄菓子がずらりと並んでいて、大人も子どももわくわく。お小遣いを握りしめて通った思い出を懐かしんで、自分の子どもを連れてくる親世代も多いという。

遠足シーズンにはおやつ選びを楽しむ子どもたちでにぎわうそう。

営 11:00～18:30
休 月～木曜
☎ 672-8859

